

|   |            |      |    |
|---|------------|------|----|
| 講義名   | 対)高齢者福祉論   |      |    |
| 担当教員  | 渡邊 健       |      |    |
| 開講期・曜日・時限   | 前期 木曜日 1時限 | 授業形態 | 講義 |
| 履修開始年次  | 3年生        | 単位数  | 2  |
| 備考  |            |      |    |
| <b>主題と概要</b>  |            |      |    |
| 本授業の目的は、わが国の高齢者福祉の理念と実際について基本的な知識を習得するとともに、その意義及び課題について理解する。  |            |      |    |
| <b>到達目標</b>   |            |      |    |
| 本講義では、現代社会における高齢者の位置づけや課題、高齢者福祉の理念・歴史・法制度体系、高齢者福祉における援助の方法、について基礎的知識を習得して現状の問題点を考察して論じることのできる基礎的視点を身につける。 |            |      |    |
| <b>提出課題</b>   |            |      |    |
| 適宜、授業のなかで提示する。  |            |      |    |
| <b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>  |            |      |    |
| 提示した課題に対する小レポートについてコメントを行う。   |            |      |    |
| <b>評価の基準</b>  |            |      |    |
| 中間および期末に課すレポート、授業で適宜提示する課題に対する小レポートおよび講義の参加姿勢により評価する。   |            |      |    |
| <b>履修にあたっての注意・助言他</b>   |            |      |    |
| 授業で配布する資料は、学習目標を達成するために重要なキーワードを提示するものであり、保管しておくこと。「評価の基準」への参加姿勢は減点法で行うが、その内容は私語、携帯電話の着信音、メールの操作等を含む。     |            |      |    |

|   |                        |  |  |
|---|------------------------|--|--|
| <b>教科書</b>  |                        |  |  |
| .最新 社会福祉士養成講座2「高齢者福祉」2021年.   | 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 | 中央法規                                       |  |
|   |                        |  |  |
|   |                        |  |  |
| <b>プリント資料及び参考文献</b>   |                        |  |  |
| 適宜、授業のなかで配布、紹介する。   |                        |  |  |
| <b>授業計画</b>   |                        |  |  |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の社会的特性</li> <li>2. 高齢者の生活実態と社会情勢</li> <li>3. 高齢者福祉制度の発展過程</li> <li>4. 高齢者福祉制度の発展過程</li> <li>5. 介護の概念や対象</li> <li>6. 介護保険制度</li> <li>7. 介護保険制度</li> <li>8. 介護保険制度</li> <li>9. 地域包括支援センターの役割と実際</li> <li>10. 介護予防とケアマネジメント</li> <li>11. 高齢者虐待の防止</li> <li>12. 認知症ケア</li> <li>13. 終末期ケア</li> <li>14. 高齢者における相談援助</li> <li>15. 高齢社会における権利擁護</li> </ol> |                        |  |  |
| <b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>  |                        |  |  |
| ア：PBL（課題解決型学習）  |                        | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |  |
| ウ：ディスカッション、ディベート  |                        | エ：グループワーク                                  |  |
| オ：プレゼンテーション   |                        | カ：実習、フィールドワーク                              |  |
| キ：その他（A.L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）  |                        |  |  |
| <b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>  |                        |  |  |
| 予習は授業終了後に次回テーマを提示するので、各自が書籍・インターネット等で関連する事柄を調べて読むこと。復習は自らの授業内容について、要点や考察を整理して書き出しておくこと。それが小レポートやレポートにつながる。予習・復習学習時間：計60時間   |                        |  |  |
| <b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b>   |                        |  |  |
| 現代の超高齢社会の構造や制度など社会の仕組み、高齢者の特性や心理の理解を通じて、これからの社会の課題や人びとの生活の質のあり方について思考し、課題の解決や新たな価値の創造ができる力を養う。  |                        |  |  |
| <b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>   |                        |  |  |
|   |                        |  |  |
| <b>実務経験の有無及び活用</b>  |                        |  |  |
| 高齢者福祉における援助実践、運営管理、経営管理の実務経験あり。授業において適宜、事例紹介を行う。  |                        |  |  |
| <b>備考</b>   |                        |  |  |
| 新型コロナウイルスの感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される学生については、通学困難となった期間に実施される対面授業について「やむを得ない欠席」として、自宅待機など解除後に代替措置を講じる。  |                        |  |  |